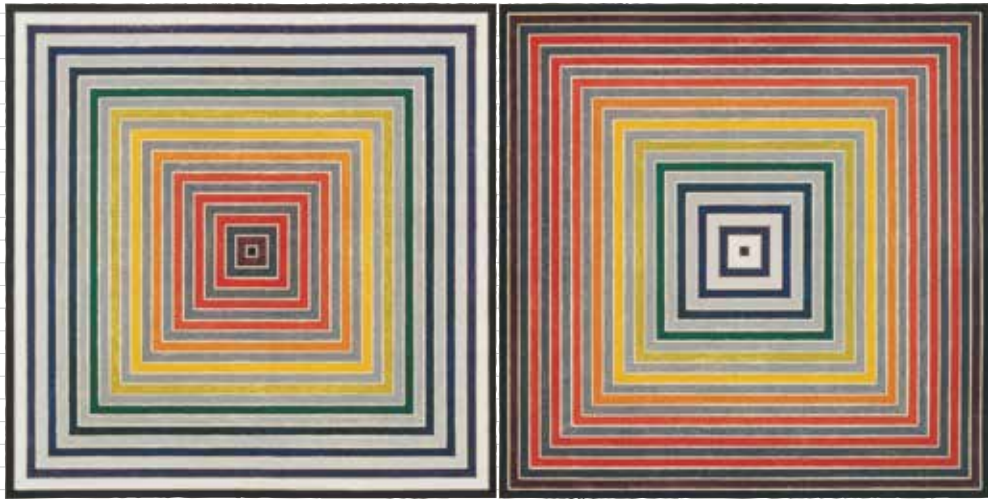




ミスミグループ通信 vol.48

2017年4月1日～2017年9月30日



© Frank Stella / ARS, New York / JASPAR, Tokyo, 2017 E2843

Top Message

ミスミグループの連結売上高は
今期3,000億円を突破する見通しとなりました。
メーカー事業と流通事業を併せ持つ
ミスミならではの強みを活かし、さらなる成長を目指します。



代表取締役社長 CEO 大野 龍隆

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
デジタルものづくりのグローバルな進展に伴い設備設計、間接材調達の
合理化ニーズが一層高まっています。これを好機と捉え、私たちミスミグループは
生産材プラットフォームへの業態変革を加速し、「攻め」の経営を強化していきます。

■2018年3月期第2四半期累計連結業績について

2018年3月期第2四半期累計期間(以下、17年度上期)の世界経済は、全体として緩やかな回復基調が続きました。米国では雇用者数、設備投資などが緩やかに増加するなど景気の回復傾向が継続しました。中国では消費の伸びは横ばいながらも各種政策効果などにより景気持ち直しの動きが継続、その他のアジア各国および欧州においても景気回復が続きました。また、日本でも個人消費や設備投資は引き続き堅調に推移し、企業収益や雇用情勢が改善しました。

こうした環境下、ミスミグループは、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献しています。なかでもミスミの最大の強みであるグローバル確実短納期体制をさらに強化するために、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進し、あわせて物流拠点の拡張などに力をいれています。

こうした取り組みにより、FA事業および金型部品事業では自動車業界やエレクトロニクス業界などの旺盛な需要を捉えることができました。また、VONA事業では品揃えの強化などによって国内売上高が大きく伸長したことに加え、国際展開を本格化したことにより海外売上高も伸長しました。その結果、17年度上期の連結売上高は1,524億円(前年同期比25.2%増)となりました。利益につきましては、営業利益は189億円(前年同期比42.2%増)、経常利益は186億円(前年同期比42.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は130億円(前年同期比56.2%増)となりました。半期決算として、売上高、利益とも過去最高を更新しました。

配当金につきましては、2011年度期末に配当性向を20%から25%に引き上げて以降、この基準を維持しており、今中間配当金は1株当たり11円52銭とし、前年同期比3円91銭の増配とさせていただきます。

■ 業態変革により加速する生産材プラットフォームへの進化

生産材プラットフォームへの業態変革



当社グループの事業は、メーカー事業と流通事業、そしてこれらを支える事業基盤で構成されており、2017年度上期においても、各々を進化させることで業態を変革させてきました。

メーカー事業では、顧客の設備設計における合理化ニーズの一層の高まりに応えるべく、当社の強みであるMTO*品(受注製作品)を軸としたデジタルモデルシフトを推進しています。流通事業では、製造副資材市場における購買プロセスの効率化ニーズの高まりを受けて、VONA事業を拡大し、国内における継続的な成長に加え、中国、韓国、タイでの本格展開により、グローバル

展開を加速させています。また、事業基盤においては、グローバル確実短納期をより強固なものとするべく、IT基盤と物流基盤のさらなる強化を図っています。

ミスミグループは、ものづくりのデジタル化を見据えてこうした業態変革に長年取り組んできました。それゆえ、昨今のグローバルに進展するデジタルものづくりの潮流を創業以来の機会と捉えております。各々の地域で「確実短納期体制」をさらに強化することで、生産材プラットフォームとしての進化を加速してまいります。

*MTO: Make To Order

■ 海外・国内で成長を続けるFA事業

ユニット商品事例

平ベルト モーター アイドラー

アルミフレーム 駆動軸 タイミングベルト

ユニット商品
ベルトコンベヤ

単品部品を組み合わせたユニットの提供で顧客の手間を削減
ミスミQCTモデルの強みを活かし、国内で急成長

FA*事業は、グローバルで大きく拡大することができました。特に中国、アジアでは旺盛なFA需要を捉えて高い成長を継続し、北米や欧州でも顧客層の拡大などにより業績は堅調に推移しました。

また、国内においても高い成長を遂げています。この成長を支えるのは「確実短納期」の優位性です。ものづくりのグローバル化により顧客の短納期ニーズはますます高まっており、私たちのMTO「確実短納期」は今まさに顧客に求められるミスミならではの強みとしてFA事業の高成長をけん引しています。加えて商品力の強化にも取り組んできました。そのひとつがユニット

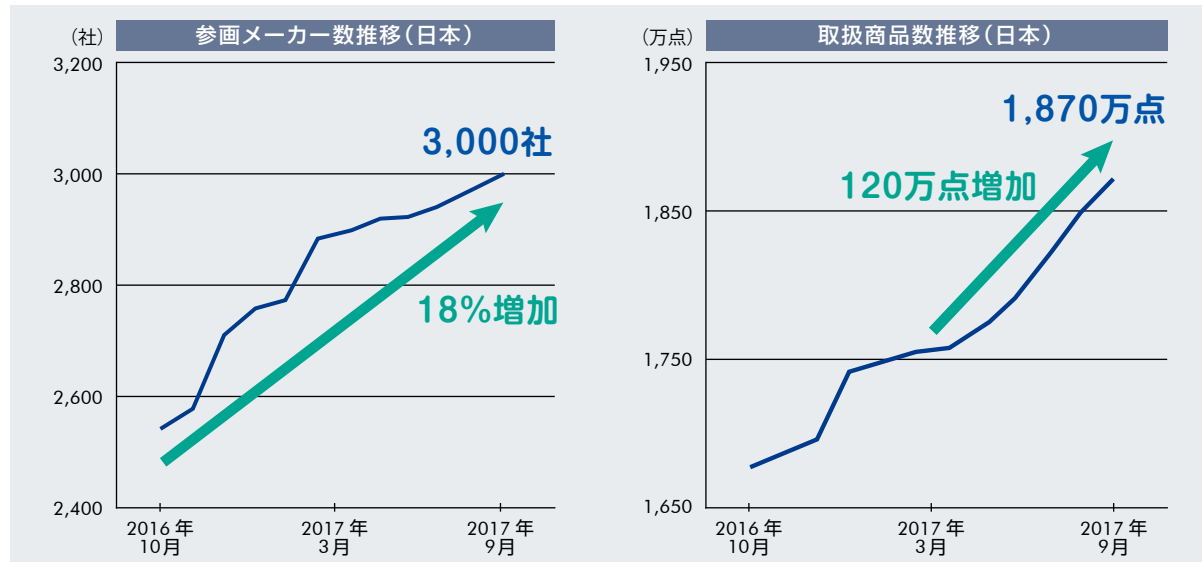
商品の強化です。単品部品を組み合わせるユニット商品を提供することで、顧客の手間を大幅に削減することができます。この商品にはミスミならではのQCT*の強みを活かすことができます。同分野の事業は大きく成長し、国内売上拡大の一要因となっています。

*FA: Factory Automation

*QCT: 高品質(Quality)、低コスト(Cost)、確実短納期(Time)

■ VONA事業のグローバル展開加速

VONA事業成長ドライバー



VONA事業*は、ミスミブランド以外の他社製品も含めた生産設備関連部品から、製造副資材やMRO(消耗品)までを取り扱う流通事業です。事業の成長ドライバーである参画メーカー数の拡大に引き続き努めた結果、その数は3,000社を突破、国内の取扱商品数は半年間で120万点増加し1,870万点となり、製造業向けで国内最大規模に達しています。

また、海外では、2016年度に中国、韓国にて本格展開を、2017年度上期にはタイ、ベトナムで事業を開始しました。今後はアジアの他地域や欧米にも順次展開していき、グローバルで顧客ニーズを捉えた最適な商品供給体制の構築を目指します。

VONA商品グローバルネットワーク



*VONA: Variation & One-stop by New Alliance

■ 物流基盤とIT基盤の強化

グローバル確実短納期供給体制強化のための物流拠点拡張

2017年度・18年度拡張予定の物流拠点



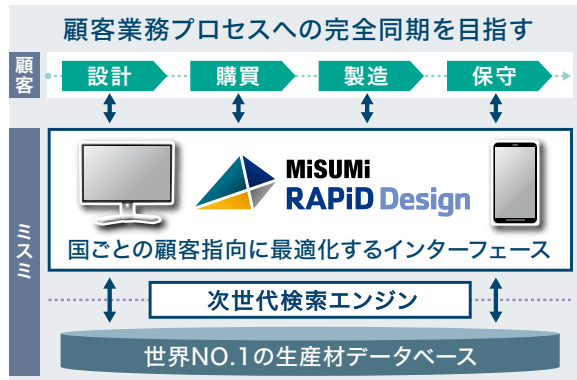
●営業拠点 62 拠点 ■ 配送センター 14 拠点 ▲ 生産拠点 24 拠点 (2017年7月現在)

事業基盤では、より強固な確実短納期体制を構築すべく、物流・IT基盤の強化を中心に組み立ててまいりました。物流基盤については、年初で掲げた拠点拡張の目標に加えて新たにメキシコでの現地法人と物流拠点新設、韓国での物流拠点拡張を計画、グローバルで拠点拡張を加速しています。

IT基盤の強化としては、検索性をさらに向上させるとともにデバイスの対応力を高めた新ECサイトを、順次グローバルで展開させています。また、中国やアジア等ではパソコンのない製造現場において部品選定から発注、検収までにわたり非効率な顧客プロセスが残されていることから、スマホ、タブレット等の新たなデバイスへの

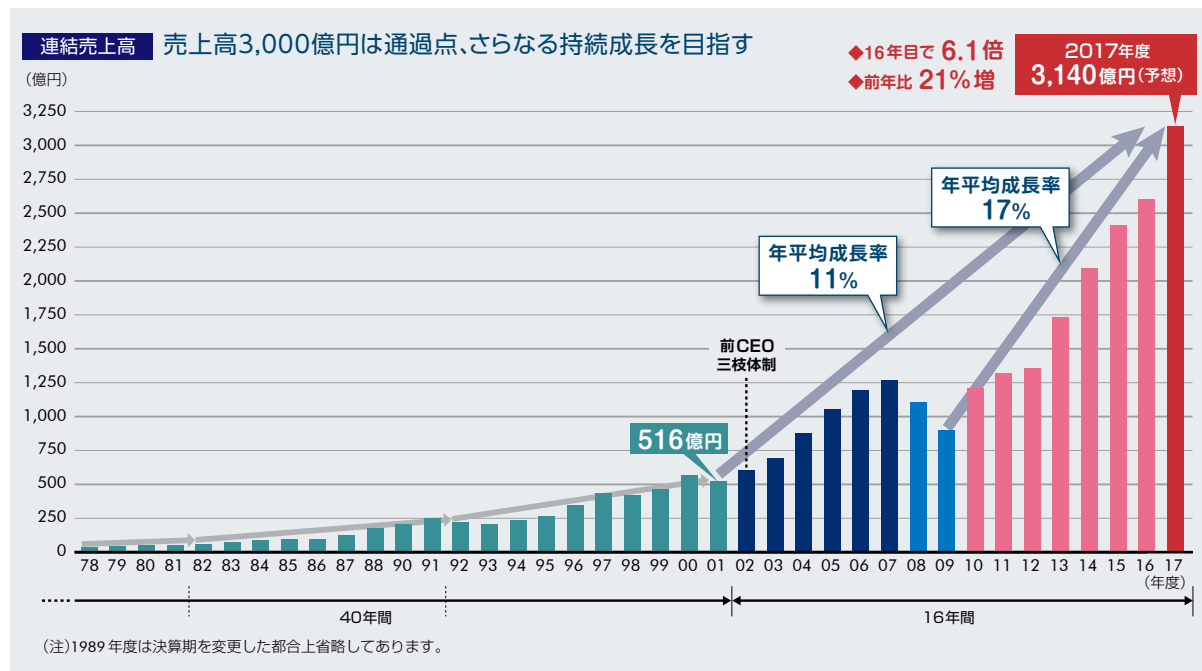
対応を他の地域に先行して開始することで製造現場における顧客の業務効率向上にも貢献してまいります。

IT基盤の強化



■2018年3月期の連結見通し

ミスミグループの業績推移



2017年度下期も、スマホ・有機EL・半導体等の旺盛な設備投資需要は続くと見込まれることから業績を上方修正しました。連結売上高は3,000億円を突破し、通期の売上高、利益はともに7期連続で過去最高を更新する見通しです。ミスミグループにおける近年の高成長は、三枝前CEO就任以降の戦略経営に基づく、諸々の経営改革の基盤の上に成り立っております。今後もこうした経営基盤をグローバルで一層強化していく「攻め」の経営を継続してまいります。

期末配当金を含めた年間配当金は、中間配当金の11円52銭と合わせ21円99銭となり、前年比5円28銭の増配となる見通しです。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2017年12月

代表取締役社長 CEO **大野 龍隆**

メキシコ現地法人設立

—米州事業のさらなる拡大を目指し、2018年4月より本格的に営業展開—

2018年4月より、メキシコに現地法人を新たに設立し、ミスミの強みである「確実短納期」を軸としたオペレーション体制を構築し、本格的な営業展開を開始いたします。

近年、メキシコでは安価な生産コストを背景に、自動車関連を中心としたメーカーの進出が続いております。一方で、現地では製造装置や部品、生産間接材などを一元的に供給できる企業が存在しておらず、メキシコへの進出企業からはそれらの調達を効率化したいというニーズが高まっております。ミスミグループではこうしたニーズに応えるため、今般新たに日系企業の工場も多数集積している中央高原部のケタロ市に現地法人を設立することといたしました。同社においてはFA部品、金型部品に加えてエレクトロニクス部品、

工具、製造副資材などのMRO品を含む様々な商品を扱うことで、顧客の幅広いニーズに応える体制を構築いたします。

現地法人設立にあわせて物流倉庫を設置することにより、確実短納期体制を強化いたします。当社商品のメキシコ配送については在庫品が最短で1日出荷、日本からの輸出品については従来比で最大10日間程度の短納期化を実現いたします。今後もミスミQCT(高品質、低コスト、確実短納期)モデルをさらに発展させることでメーカー事業を強化するとともに、他社ブランド品を扱う流通事業VONAについても品揃えを順次拡大し、メキシコのものづくりの現場における生産材調達の非効率解消に貢献してまいります。

メキシコ現地法人概要

社名	MISUMI Mexico S. de R.L. de C.V.
資本金	4.5億円 (MISUMI USA 99%, MISUMI Investment USA 1%)
所在地	ケタロ州 ケタロ市
従業員数	30名(予定:2018年4月時点)
事業内容	FA部品・金型部品・生産間接材の製造・販売

■ 連結業績ハイライト

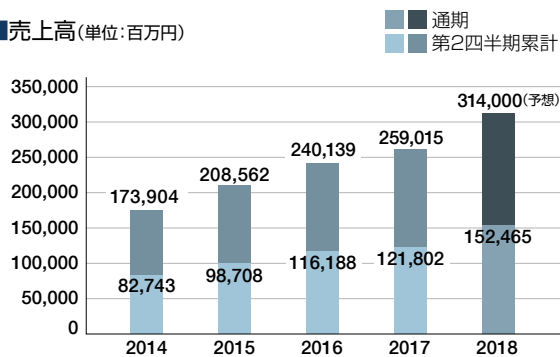
2018年3月期 第2四半期の売上高は1,524億円(前年同期比25.2%増)となり、半期決算として過去最高を更新しました。利益については、積極的な事業拡大に向けた人材強化やEC基盤拡充などの費用増加等により、営業利益は189億円(同42.2%増)、四半期純利益は130億円(同56.2%増)となりました。

セグメント別売上高は、FA事業517億円(前年同期比29.3%増)、金型部品事業386億円(同17.3%増)、VONA事業620億円(同27.1%増)となりました。

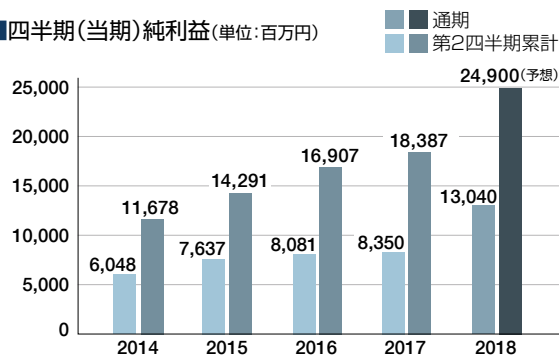
地域別売上高は、日本792億円(前年同期比18.7%増)、中国291億円(同42.6%増)、アジア206億円(同45.2%増)、アメリカ133億円(同8.8%増)、ヨーロッパ75億円(同23.0%増)、その他25億円(同27.2%増)となり、海外売上高比率も48.0%となりました。

なお、配当性向の基準を11年度期末配当より20%から25%に引き上げており、第2四半期末の配当金を11円52銭(前年同期比3円91銭の増配)とさせていただきます。

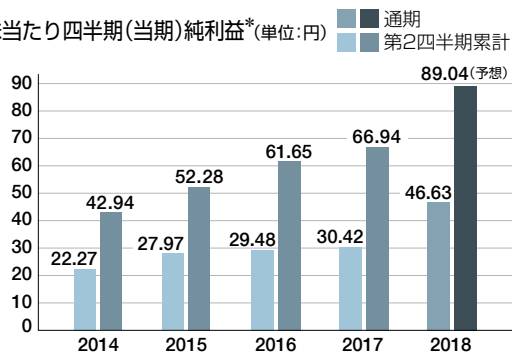
■ 売上高(単位:百万円)



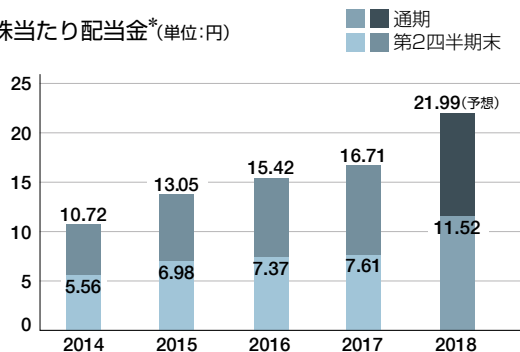
■ 四半期(当期)純利益(単位:百万円)



■ 1株当たり四半期(当期)純利益*(単位:円)



■ 1株当たり配当金*(単位:円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。*2015年7月1日付の株式分割調整後。

事業概要

FAなどの自動機の標準部品を主に扱うFA事業、自動車や電子・電気機器などの金型部品を主に扱う金型部品事業、新たな流通事業としてミスブランド以外の他社商品も含めた生産設備関連部品に加えて、製造副資材やMRO(消耗品)などを販売するVONA事業で構成されております。

■ミスミグループの主な取扱製品

取扱商品群		精密機械部品 2,170万点							
FA事業	FA用メカニカル標準部品		シャフト		タイミングプーリ		リニアブッシュ		平ベルトコンベヤ
	位置決め・計測機器 (OST事業)		自動ステージユニット		アクチュエータ		光学計測器		光学デバイス組立検査装置
金型部品事業	プレス金型用標準部品		パンチ		ボタンダイ		精密級ガイドピン		ガススプリング
	プラ型用標準部品		エジェクタピン		スプルーブッシュ		パーティングロックセット		テーパピン
VONA事業	メカニカル部品/ ねじ・ボルト・ 座金・ナット		センサスイッチ		継手		ねじ・ボルト・ナット		キャスタ
	配線部品/ 制御部品・PC部品		コネクタ		スイッチ		ケーブル		トランス
	切削工具/ 生産加工用品		エンドミル		六角棒レンチ		旋盤用チップ		ノギス
	梱包・物流保管用品/ 安全保護・環境衛生・ オフィス用品		台車		作業用手袋		パーツクリーナー		研究開発用品

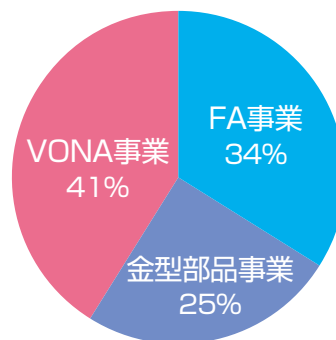
*FA : Factory Automation *OST : Optical & Scientific Technology *VONA : Variation & One-stop by New Alliance

■セグメント別売上高・営業利益の推移 (単位:百万円)

		当第2四半期	前第2四半期
		2017.4.1~2017.9.30	2016.4.1~2016.9.30
FA事業	売上高	51,731	40,011
	営業利益	10,539	6,222
金型部品事業	売上高	38,692	32,980
	営業利益	2,767	2,129
VONA事業	売上高	62,041	48,810
	営業利益	5,823	5,158
調整額	売上高	—	—
	営業利益	△227	△215
合計	売上高	152,465	121,802
	営業利益	18,902	13,295

*2014年4月より、上記の3事業にセグメントを変更しております。

■連結売上高比率 [2017.9.30]



●連結貸借対照表(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2017.9.30	前第2四半期 2016.9.30	前期 2017.3.31
(資産の部)			
流動資産	172,577	139,741	160,281
現金及び預金	63,467	55,865	63,179
受取手形及び売掛金	65,236	48,324	57,847
たな卸資産	37,025	28,836	33,310
その他	7,157	6,973	6,245
貸倒引当金	△309	△259	△301
固定資産	52,503	47,560	51,759
有形固定資産	27,732	26,148	27,874
無形固定資産	19,095	16,832	19,012
ソフトウェア	10,846	7,141	9,568
のれん	145	1,725	1,011
その他	8,103	7,965	8,432
投資その他の資産	5,675	4,579	4,873
資産合計	225,081	187,302	212,041

科目	当第2四半期 2017.9.30	前第2四半期 2016.9.30	前期 2017.3.31
(負債の部)			
流動負債	36,640	26,598	37,246
支払手形及び買掛金	16,642	12,820	16,974
未払金	7,002	5,142	9,033
未払法人税等	4,147	3,811	3,332
賞与引当金	3,492	1,874	2,286
役員賞与引当金	130	124	242
その他	5,225	2,824	5,378
固定負債	9,495	18,685	19,135
新株予約権付社債	112	10,112	10,388
退職給付に係る負債	4,765	4,238	4,509
その他	4,617	4,335	4,237
負債合計	46,135	45,284	56,382
(純資産の部)			
株主資本	174,481	144,733	153,724
資本金	12,705	7,070	7,593
資本剰余金	23,094	17,459	17,982
利益剰余金	138,758	120,280	128,226
自己株式	△77	△76	△76
その他の包括利益累計額	3,108	△3,617	805
新株予約権	846	434	675
非支配株主持分	509	467	453
純資産合計	178,945	142,017	155,658
負債純資産合計	225,081	187,302	212,041

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2017.4.1~ 2017.9.30	前第2四半期 2016.4.1~ 2016.9.30	前期 2016.4.1~ 2017.3.31
売上高	152,465	121,802	259,015
売上原価	87,069	71,469	151,564
売上総利益	65,396	50,332	107,451
販売費及び一般管理費	46,493	37,036	80,323
営業利益	18,902	13,295	27,127
営業外収益	282	268	511
営業外費用	557	450	1,176
経常利益	18,627	13,114	26,462
特別損失	—	—	391
税金等調整前四半期(当期)純利益	18,627	13,114	26,071
法人税等	5,541	4,734	7,713
四半期(当期)純利益	13,086	8,379	18,357
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	45	28	△29
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	13,040	8,350	18,387

●連結キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

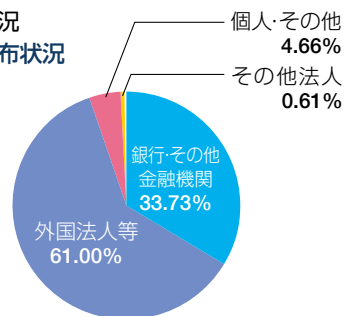
科目	当第2四半期 2017.4.1~ 2017.9.30	前第2四半期 2016.4.1~ 2016.9.30	前期 2016.4.1~ 2017.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,621	10,262	19,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,264	2,395	△6,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,487	△2,088	△4,008
現金及び現金同等物に係る換算差額	799	△2,108	△25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,197	8,460	9,417
現金及び現金同等物の期首残高	47,840	39,204	39,204
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	55,038	46,883	47,840

■発行可能株式総数	1,020,000,000株
■発行済株式総数	283,233,797株
■株主数	4,980名
■大株主	

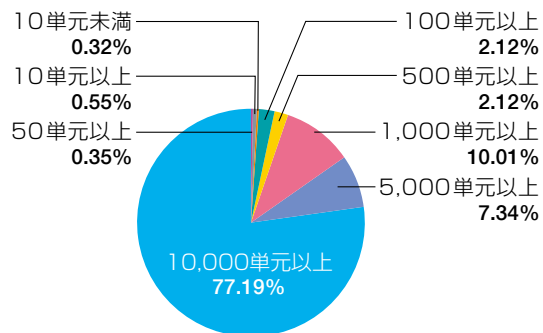
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	45,826	16.18
日本スタートラスト信託銀行株式会社	22,524	7.95
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 常任代理人 香港上海銀行東京支店	12,431	4.39
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	10,678	3.77
MSCO CUSTOMER SECURITIES 常任代理人 モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	7,027	2.48
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	6,251	2.21
GOLDMAN,SACHS&CO.REG 常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社	5,840	2.06
田口 弘	5,530	1.95
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	4,921	1.74
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	4,624	1.63

(注) 持株比率は小数点以下第3位を四捨五入しております。

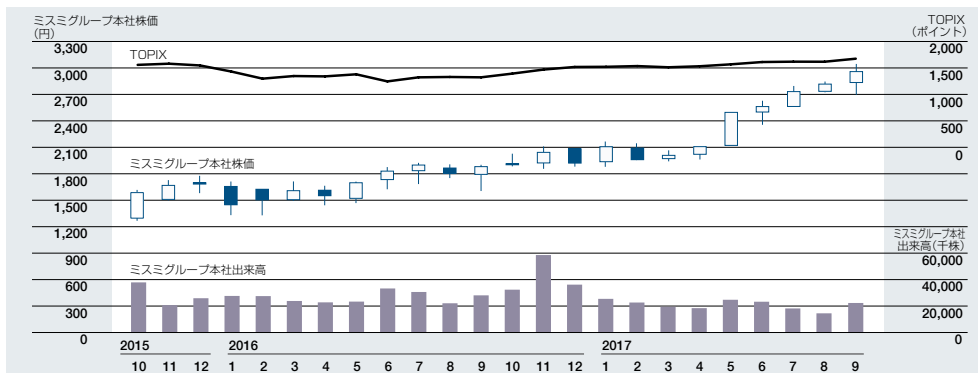
■株式の分布状況
所有者別株式分布状況



■所有株数別株式分布状況 (1単元の株式数100株)



■株価の推移



■会社概要

商号	株式会社ミスミグループ本社 (英文名:MISUMI Group Inc.)
設立	1963年2月23日
本 社	東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル
資本金	127億5百万円
事業内容	グループの経営戦略立案や管理ならびにそれらに付随するグループ経営に必要な機能を有する
従業員数	10,167名 (ミスミグループ連結)
URL	http://www.misumi.co.jp/

■ミスミグループトップマネジメント(2017年12月1日現在)

□取締役

取締役(議長)	三枝 匡	取締役会議長
取締役	大野 龍隆	代表取締役社長 CEO
取締役	池口 徳也	取締役副社長
取締役	男澤 一郎	常務取締役 CFO
取締役(社外)	小城 武彦	
取締役(社外)	西本 甲介	

□経営執行役

ミスミグループ本社

代表取締役社長 CEO	大野 龍隆
取締役副社長	池口 徳也
常務取締役 CFO	男澤 一郎
常務執行役員	内田 洋輔
常務執行役員 CIO	佐藤 年成
常務執行役員	和田 高明
グループ統括執行役員	有賀 誠
グループ統括執行役員	丸井 武
グループ統括執行役員	萩平 和巳

企業体・本部・サービスプラットフォーム

中国企業体 代表執行役員 CEO	金谷 知樹
アジア企業体 代表執行役員 CEO	清水 重貴
FA G事業本部 代表執行役員	中川 理恵
VONAエレクトロニクスG事業本部 代表執行役員	中村 茂仁
VONAメカニカルG事業本部 代表執行役員	高阪 貞夫
VONAツールサプライG事業本部 代表執行役員	加藤 匡一
物流サービスプラットフォーム 代表執行役員	岡本 道明
生産サービスプラットフォーム 代表執行役員	遠矢 工
MIGサービスプラットフォーム 副代表執行役員	白尾 直樹

□監査役

監査役	宮本 博史
監査役(社外)	野末 寿一
監査役(社外)	青野奈々子

□顧問

特別顧問・創業者	田口 弘
----------	------

■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00-17:00)

(同送付先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL <http://www.misumi.co.jp/r/>

お知らせ

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に登録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

TEL(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)
インターネットアドレス <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、国内および諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、さまざまな要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与え得る重要な要素にはミスミグループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

MISUMI Art Collection

Frank Stella (フランク・ステラ)

《Double Gray Scramble(ダブル・グレイ・スクランブル)》
1973年、スクリーンプリント／紙、73.6×128.9cm

グラフィックデザイナーがデザインしたものと見えるかもしれない。紫→赤→橙→黄→緑→青、ブラック→ダークグレー→ライトグレー→ホワイト、色と白黒の濃淡を順序良く並べた帯のスクランブル(いっしょくたな)配置。Scrambleは緊急発進の意味もあり緊張感を感じさせる。

しかし制作者はアメリカナンバーワンの現役アーティスト、フランク・ステラ、昨年ニューヨークのホイットニー美術館で回顧展を開催した巨匠。

スクリーンプリントはシルクスクリーンとも呼ばれる技法、この版画、一見24色に見えるが、実は50の版を用いて150回刷り上げたもの。版画の技法自体まさに芸術的だ。

欧米では日本でいう版画家という職業は存在せず、画家が刷り師(プリンター)と組んで版画を制作する。ステラが組んでいたのはケネス・タイラー、彼のおかげでステラは300点(種類)、総数18,507枚もの版画を作ることができた。

でも2001年を最後にステラは版画の制作を止めた。ケン(ケネス)が引退して版画工房を閉じてしまったからだ。タイラーの制作した1,000種類にのぼる版画(総数は数えられない)は、オーストラリア・ナショナルギャラリーと福島県須賀川市のCCGA現代グラフィックアートセンターに収蔵されている。



株式会社 ミスミグループ本社

〒112-8583 東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル

TEL:(03)5805-7037 FAX:(03)5805-7014

URL: <http://www.misumi.co.jp/>